

SCHOOL
MATHEMATICS:
ALGEBRA & GEOMETRY

算数なんて、
将来何の役に立つの？

「計算ならスマホでできるじゃん」と
笑うあなたへ贈る、資本主義のサバイバルガイド。

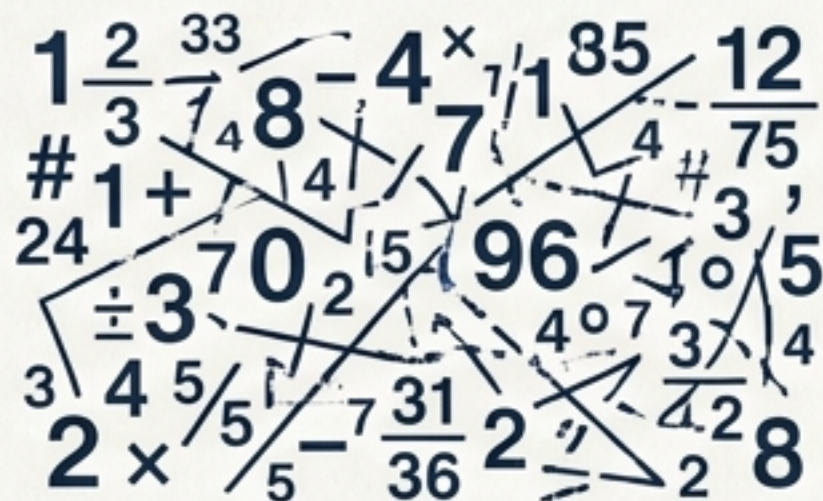
9:41
4,567



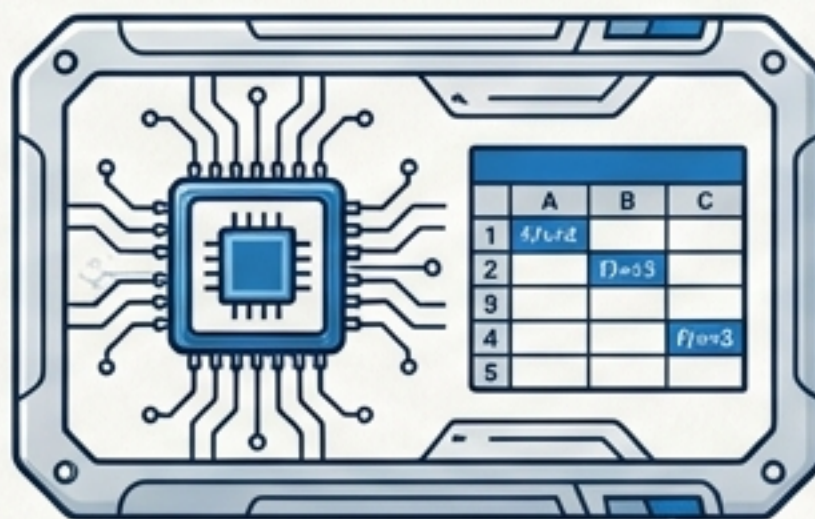
FIG. 1.1: ANALOG VS. DIGITAL UTILITY MATRIX

正直に言おう。手計算の速さは、もう無価値だ。

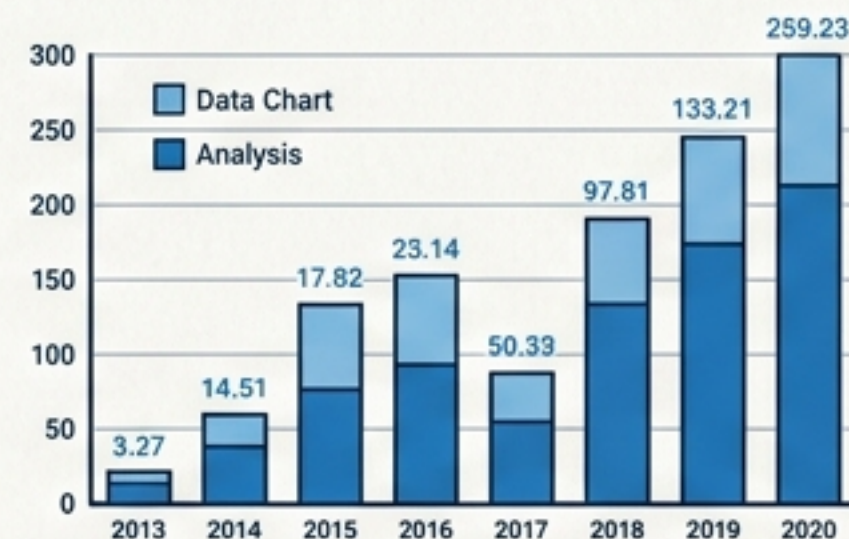
複雑な計算



AI & エクセル



自動化された結果



複雑な計算はすべて、AIとエクセルがやってくれる時代。
スマホがあれば、誰もが「計算の天才」になれる。

じゃあ、なぜ僕たちは「算数」をやらされたのか？

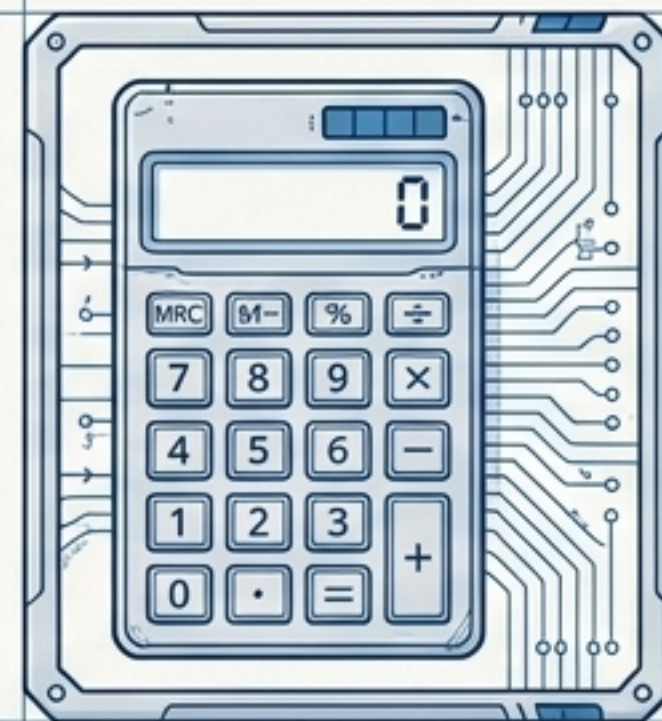
算数は「計算を早くする練習」ではない。

算数



≠

計算

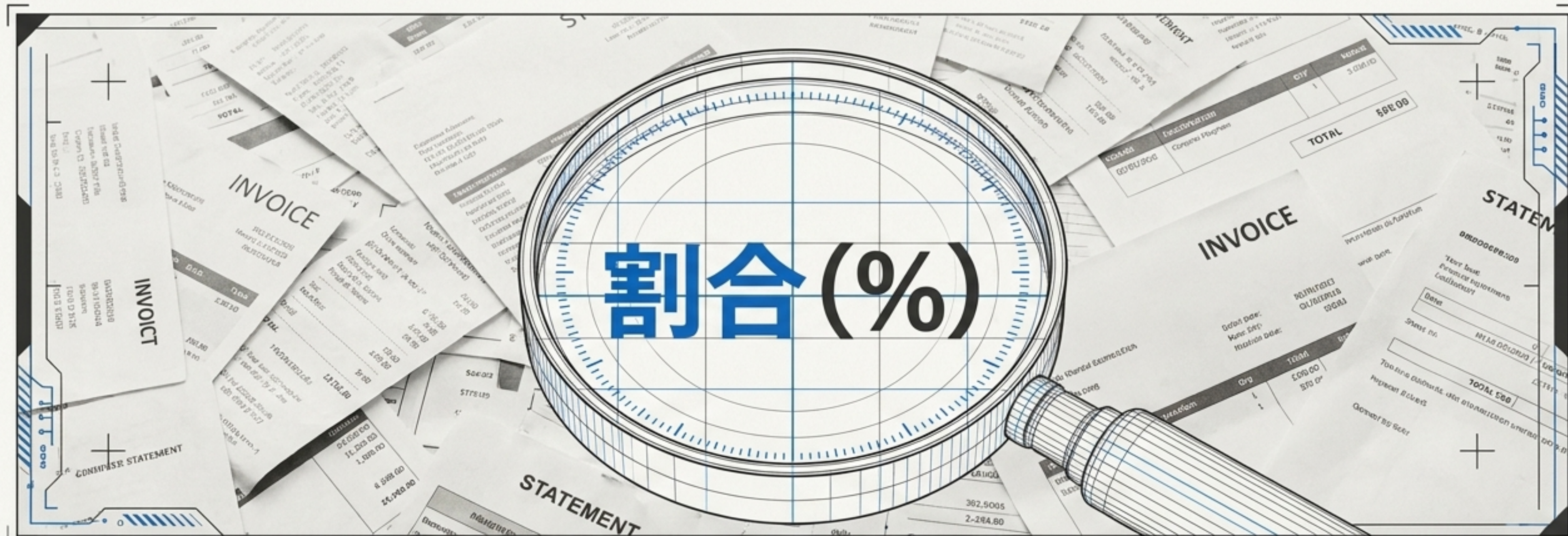


資本主義というルールの世界で、
大人たちの嘘を見抜き、搾取されずに
自分の身を守るための「最強の防具」だ。

Weapon 01: 割合 (%)

Weapon Status: **ACTIVE** / ANALYZING... [■■■■■]

世の中のお金の流れを透視する「X線メガネ」



これが直感的に理解できないと、大人になってから
確実に「力モ」にされる。資本主義の共通言語。

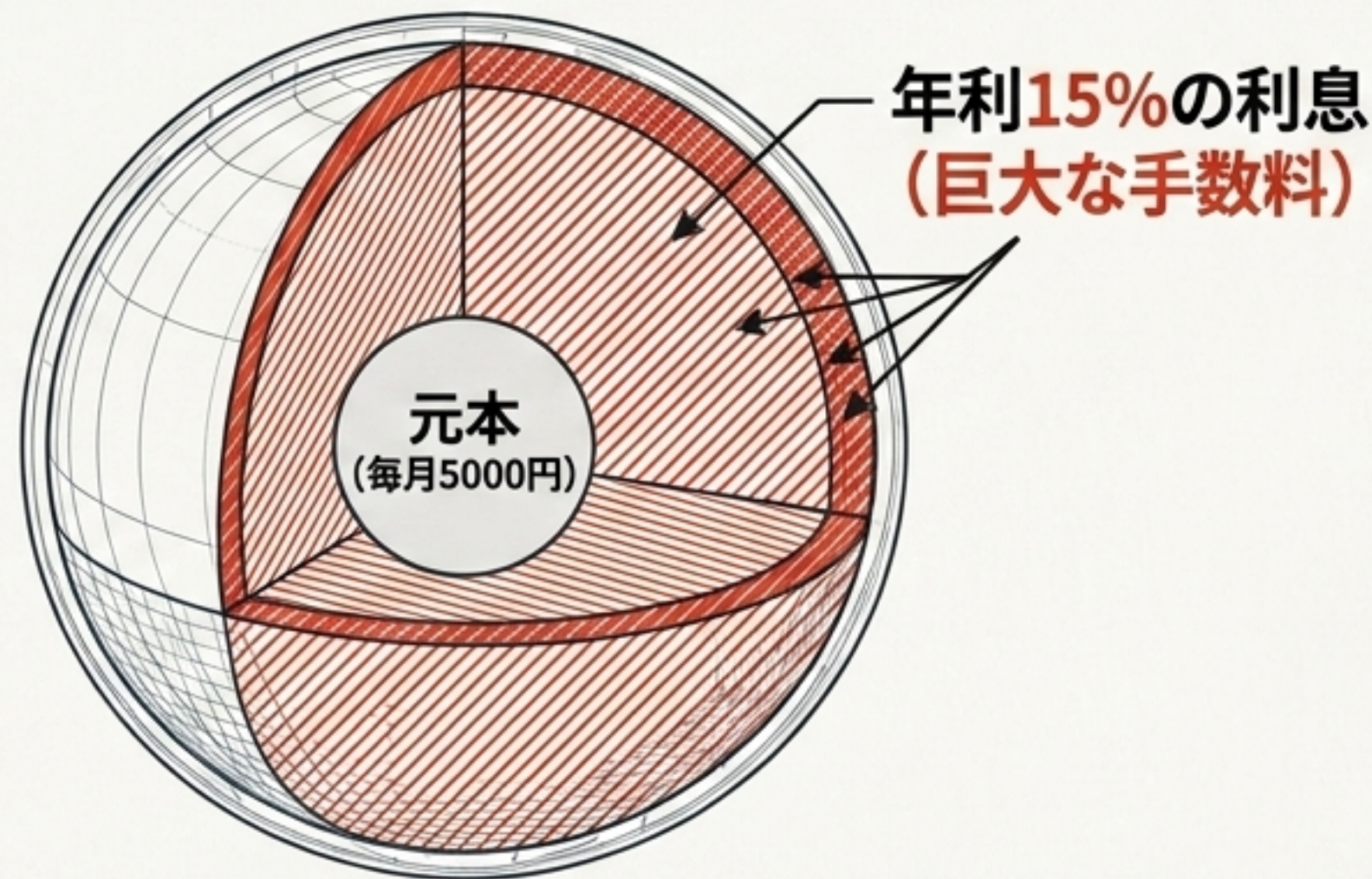
悪魔の仕組み「リボ払い」の正体

表面上の錯覚



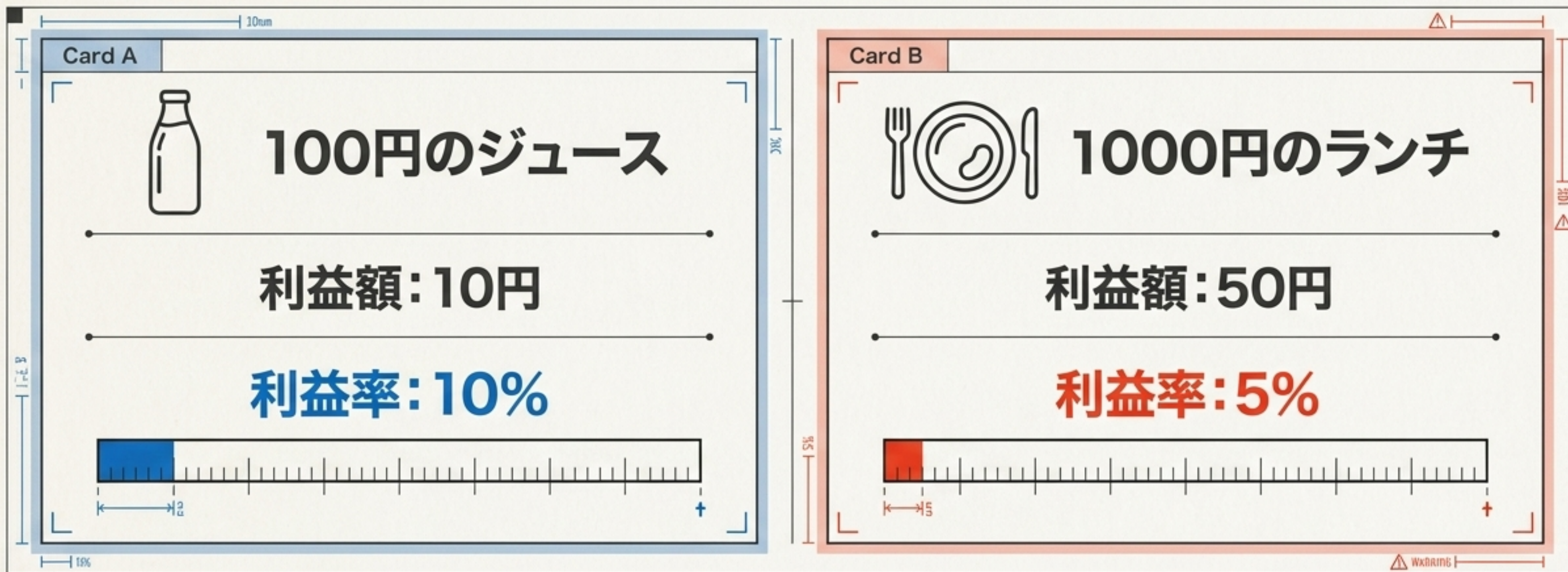
「毎月5000円なら払える！
ラッキー！」

透視された現実 (X線フィルター起動)



20万円のバッグを買っただけなのに、最終的に数万円
もの「利息」を追加で奪い取られることに気づく。

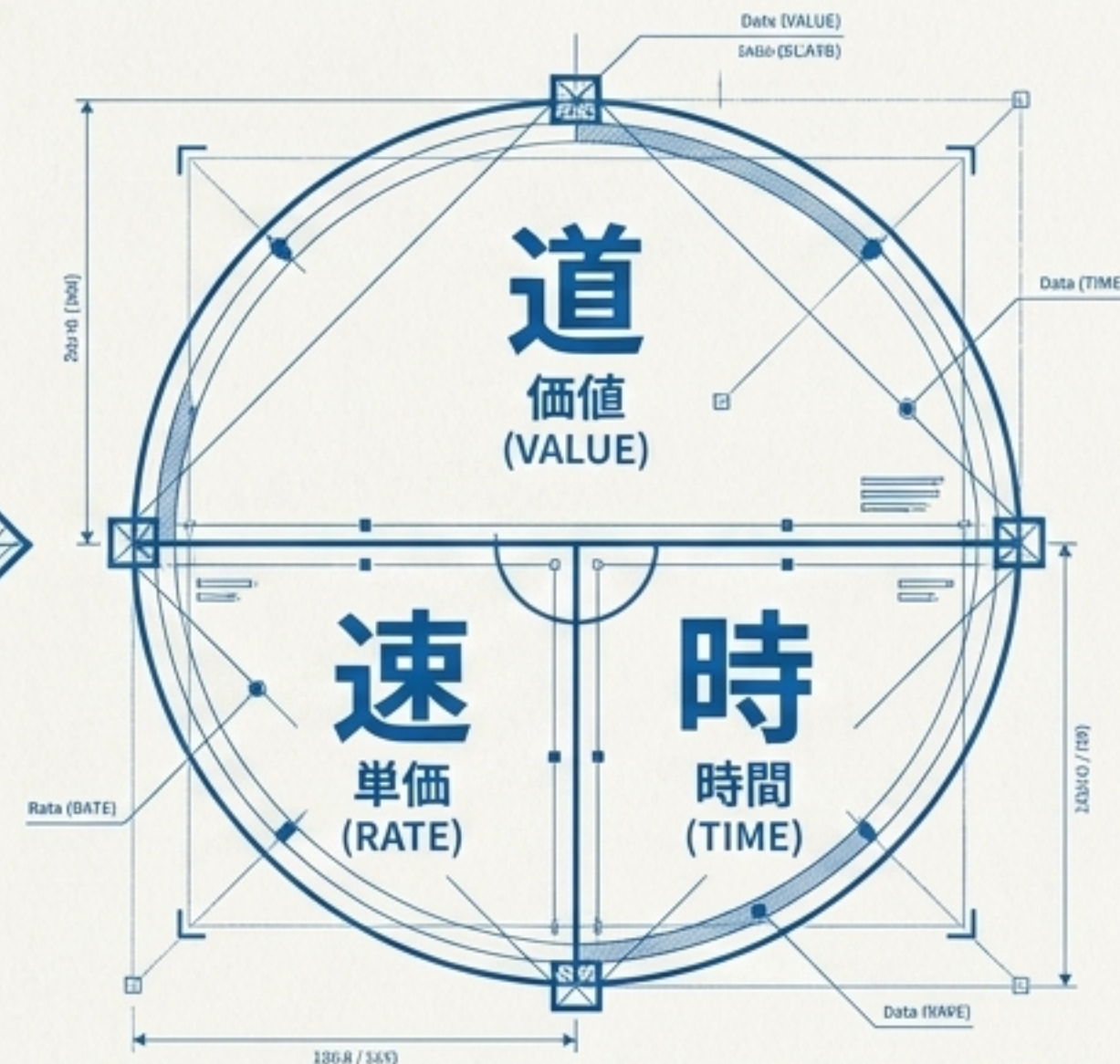
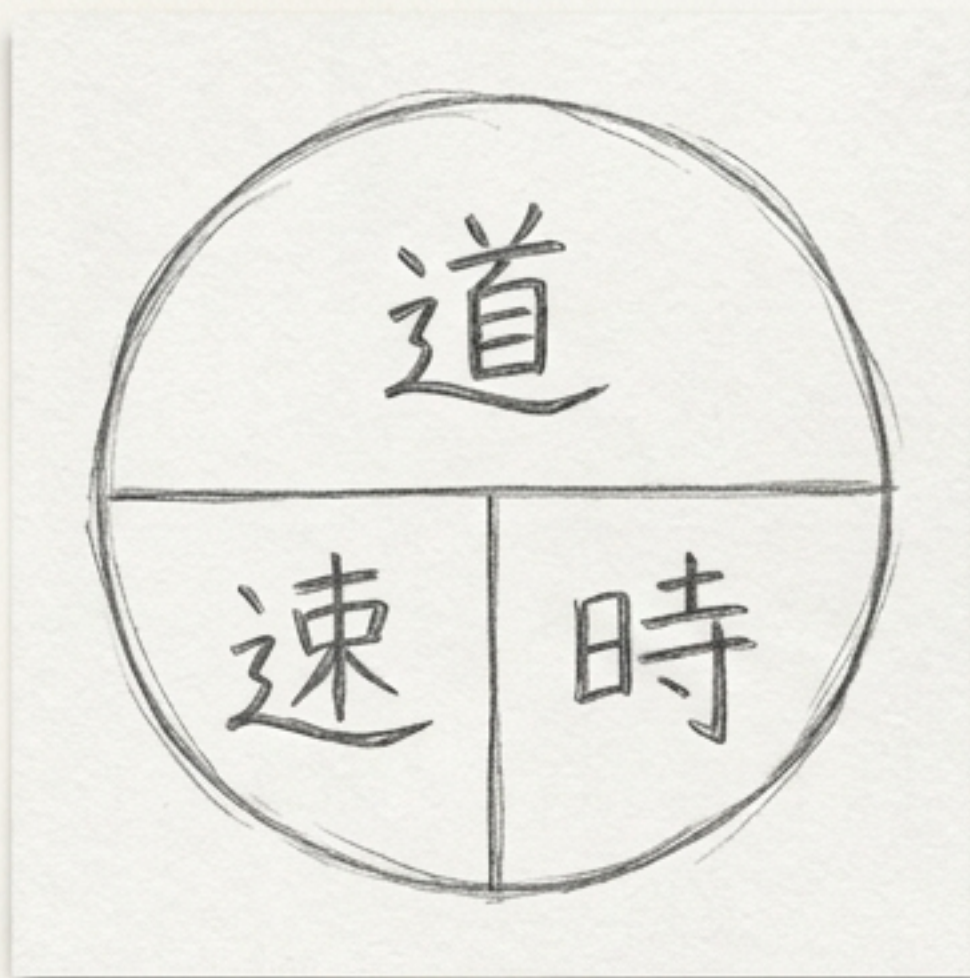
ビジネスの世界では「利益額」より「利益率(%)」



「 一見ランチが儲かりそうだが、ビジネスで勝つのはこの「%」を操れる人間だ。 」

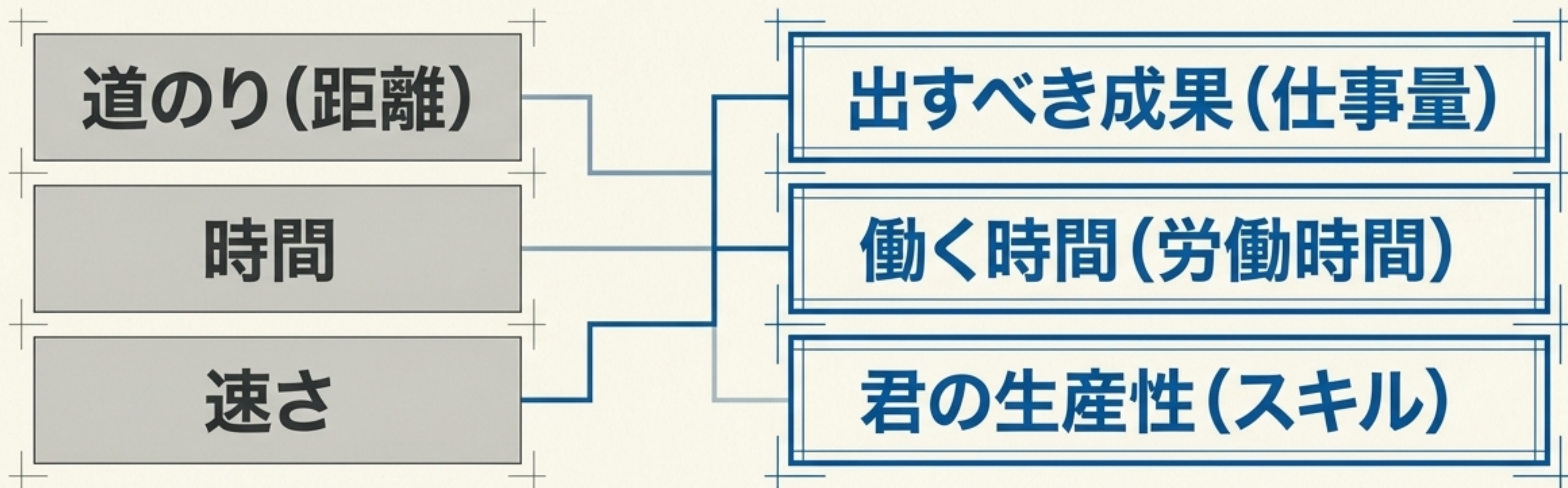
Weapon 02: は・じ・き の法則

自分の命 (時間) をいくらで売るかを決める方程式



「車なんて乗らないし」？ いや、これは社会に出た瞬間、最も重要な計算式に化ける。

大人の世界への翻訳

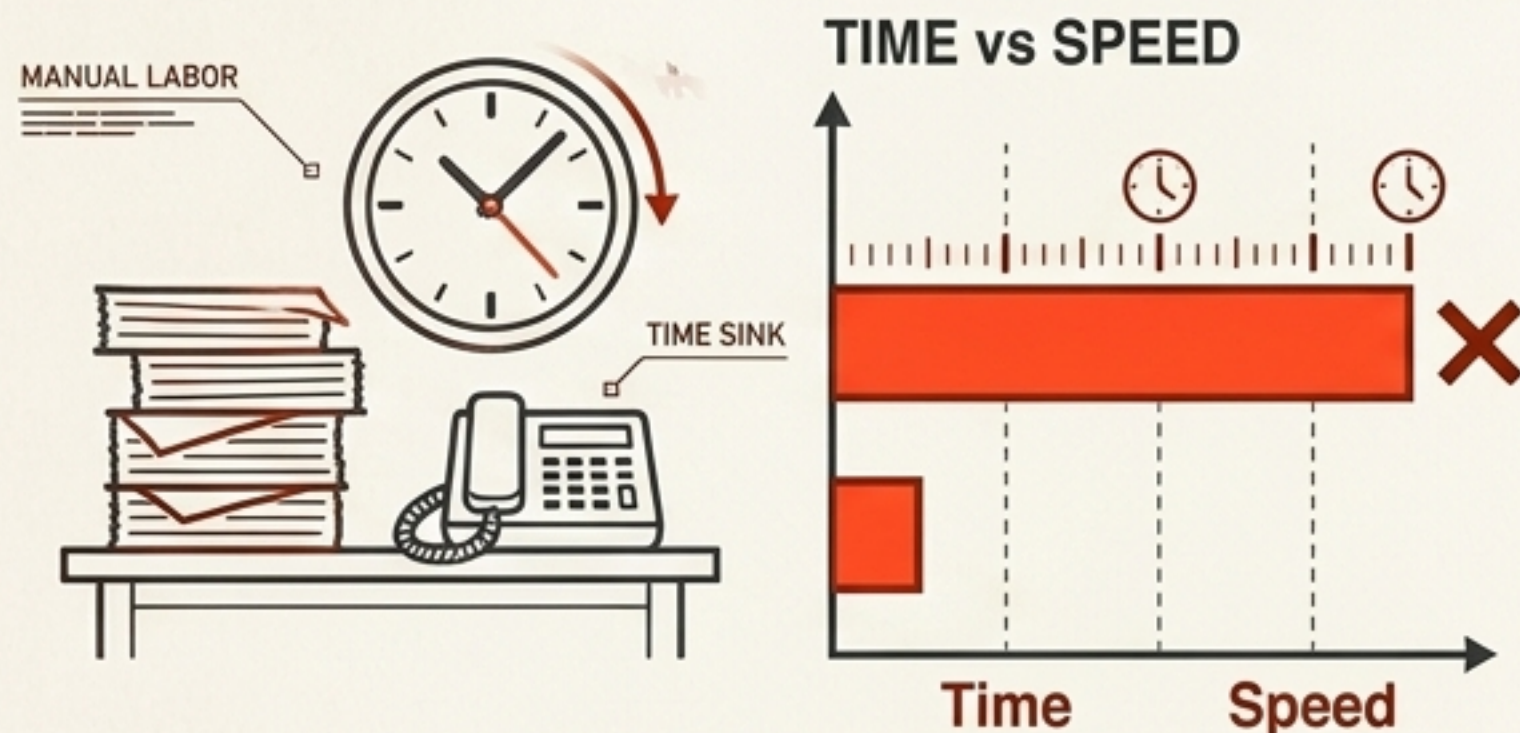


成果(道のり)	=	生産性(速さ)	×	労働時間(時間)
---------	---	---------	---	----------

算数の文章題は、自分の時間を奪われないための「働き方のシミュレーション」だった。

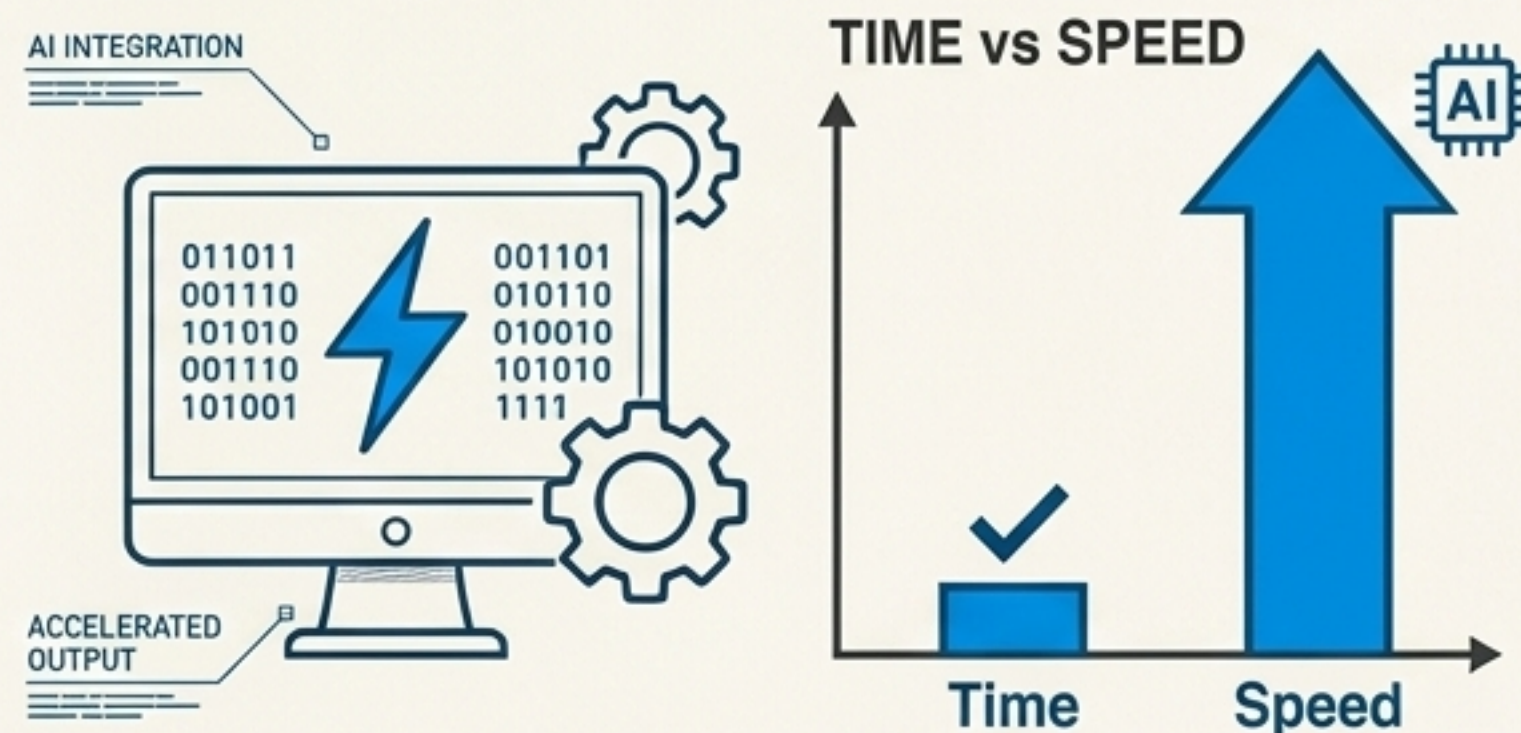
「成果」を出すための2つのアプローチ

アプローチA: 時間を増やす



残業でカバーする。時給労働的アプローチで、自分の命（時間）を削る働き方。

アプローチB: 速さを上げる

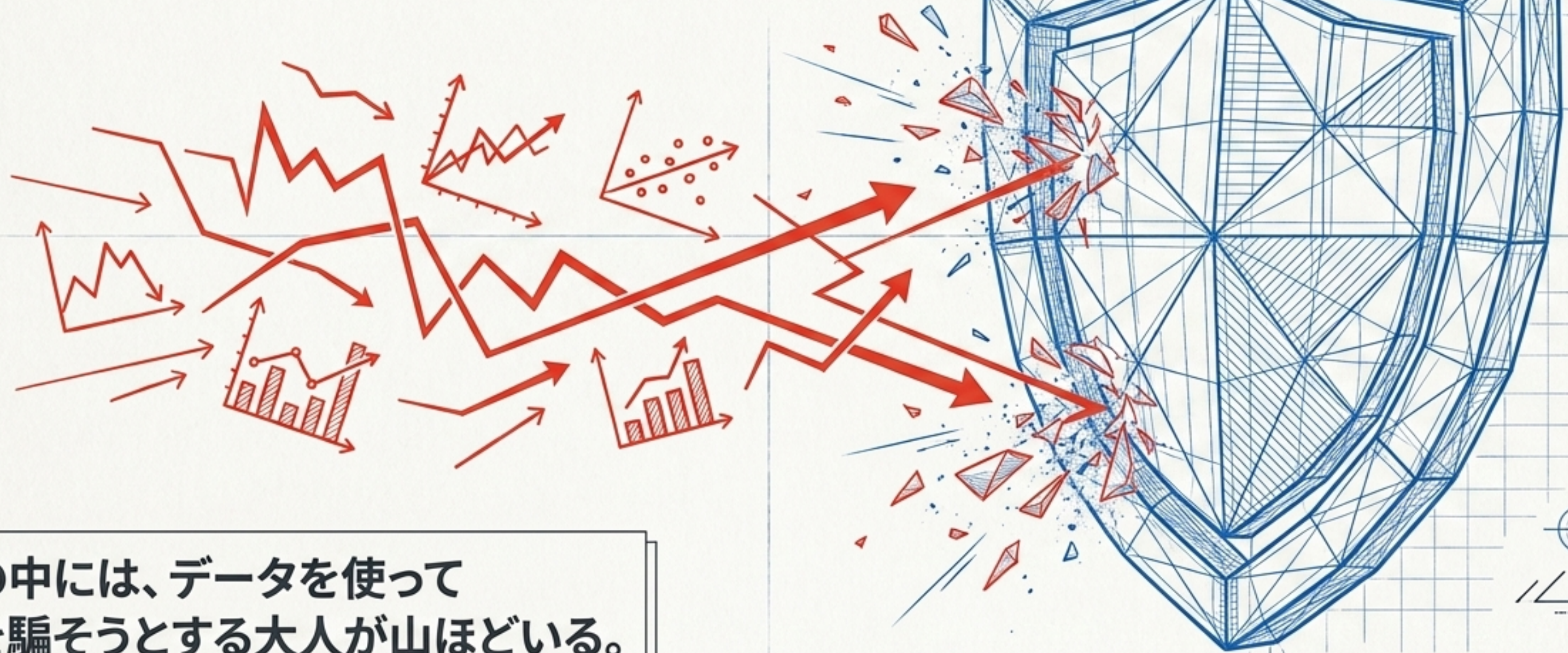


PCスキルやAIを活用し、他人が8時間かかる仕事を2時間で終わらせる。

「労働時間を増やさずに稼ぎを増やす」思考を手に入れる。

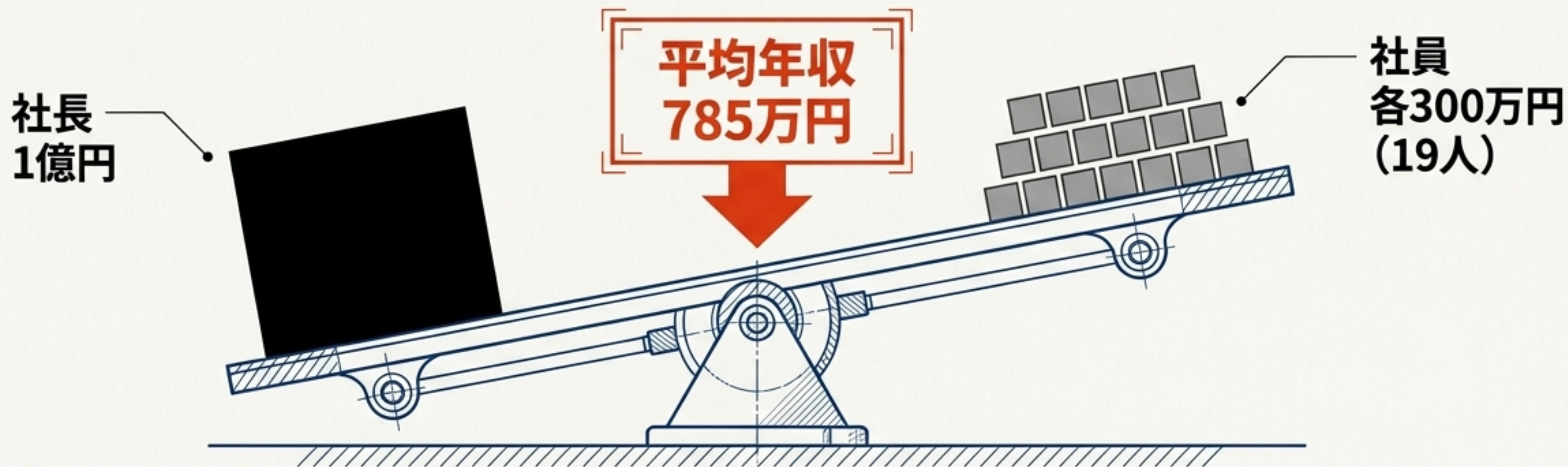
Weapon 03: 平均とグラフ

大人の「数字を使った嘘」を見抜く強固な盾



世の中には、データを使って
君を騙そうとする大人が山ほどいる。

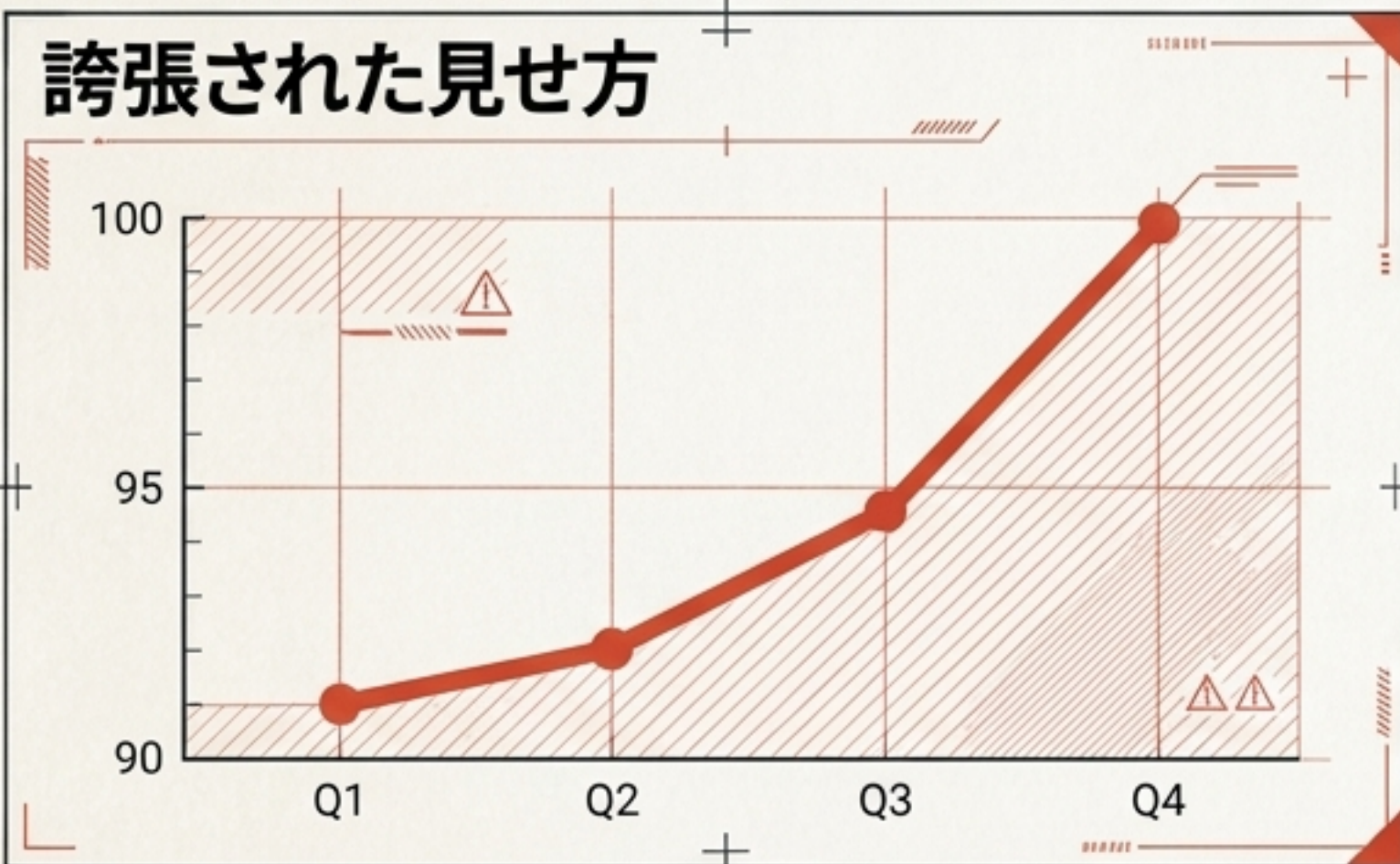
「平均」の罠：この会社の平均年収は800万円！



平均年収は高くても、実際に入社したら年収300万円でこき使われる。これがデータの罠。

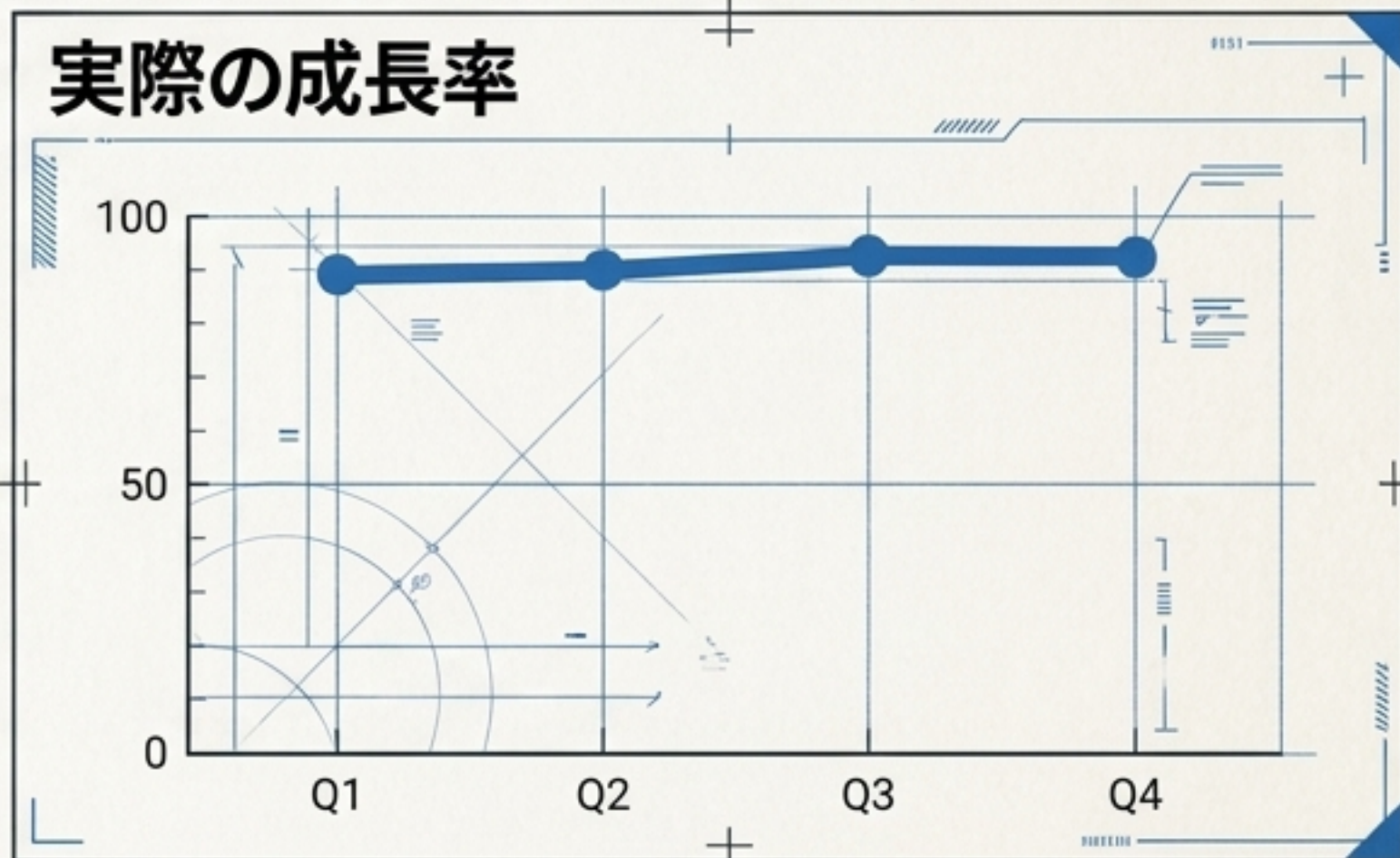
縦軸を操作された「急成長」の錯覚

誇張された見せ方



縦軸のメモリを操作し、さも急成長しているかのように見せるプレゼン資料。

実際の成長率



ゼロベースで見ると成長はほぼ横ばい。

表やグラフを読み解く力は、嘘から自分を守り、正しい決断をするために不可欠。

資本主義のチュートリアル・マッピング

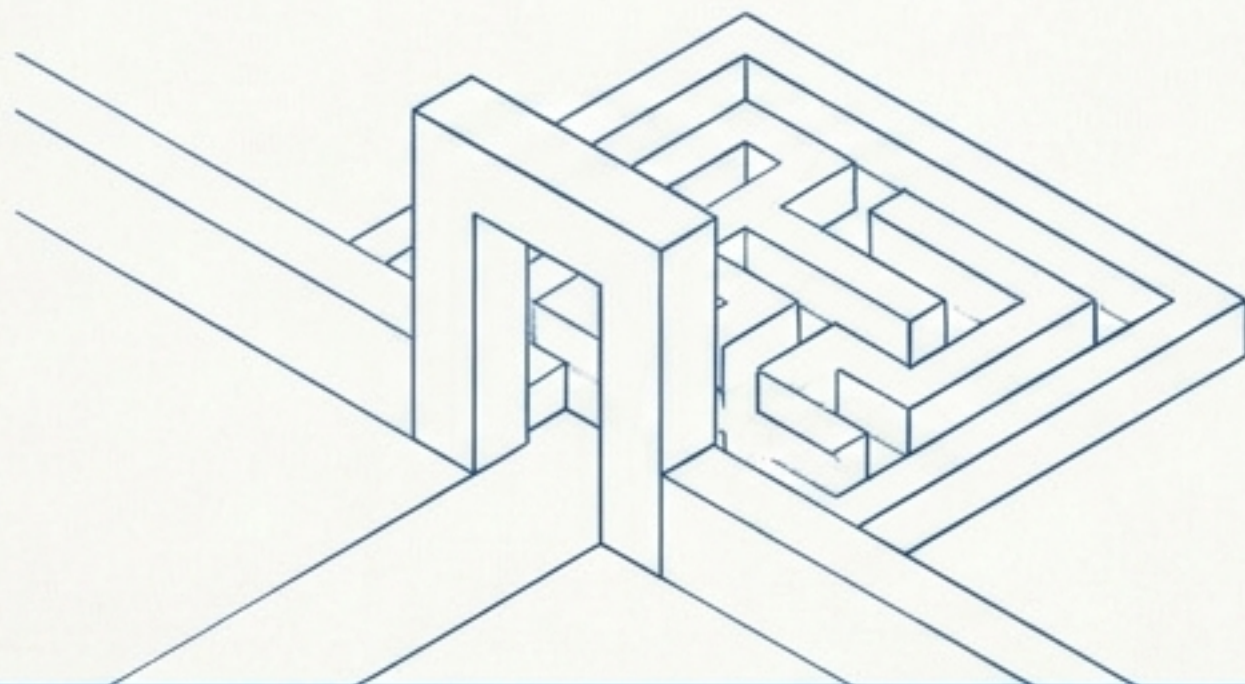
算数のスキル	社会での正体	防御できる大人の嘘
割合 (%)	お金の流れ (利益率・金利)	リボ払いやぼったくり
は・じ・き	生産性と労働時間	「残業すればいい」 という洗脳
平均・グラフ	データリテラシー	求人広告や誇大プレゼン

※企業の採用テストで「割合」や「は・じ・き」が出題される理由：
この基礎がないと、そもそも大人のスタートラインに立てないからだ。

算数は「計算」じゃない。「決断」するための武器だ。

電卓は計算をしてくれるが、
「何を計算すべきか」「どう行動するか」
は教えてくれない。

数字の裏側には、社会のルールが隠されて
いる。ルールを知る者はゲームを制し、
知らない者は利用される。



君の人生を、君自身の手で面白く切り拓くために。
まずは目の前の「数字」を、自分の武器に変えるところから始めよう。